

「グローバルCOEプログラム」審査基準(案)

平成18年12月20日
グローバルCOEプログラム委員会

「グローバルCOEプログラム」の審査は、この審査基準により行うものとする。

I. 審査基準

1. 分野別審査・評価部会の各部会における審査

(1) ヒアリングを実施すべき教育研究拠点(以下、「拠点」という。)の選定

分野別審査・評価部会の各部会は、書面及び合議の審査によりヒアリングを実施すべき拠点の選定を行う。

①個別書面審査

書面審査は、各委員及び専門委員が「将来構想等調書」、「拠点形成計画調書」、「教育研究活動調書」をもとに行う。その際、「評価書(レフェリー評価)」の評価を参考とする。

各委員及び専門委員は、書面の審査に当たっては、審査要項「4. 審査に当たっての着目点」の各要素に着目しつつ次表により評価を行う。

○ 評価書の作成(レフェリー評価)

分野別審査・評価部会の各部会長は、ヒアリングを実施すべき拠点を選定する際の資料とするため、申請のあった拠点毎に選定した2~3名程度の者に、「拠点形成計画の概要」、「拠点形成計画調書」及び「教育研究活動調書」をもとに「評価書」の作成を依頼する。

「評価書」の作成に当たっては、審査要項「4. 評価に当たっての着目点」(2)及び(3)の各要素に着目し、意見を付すものとする。

区分	評 価
	非常に優れた拠点形成計画である。
	優れた拠点形成計画である。
	拠点形成計画にやや不十分な点がある。
	拠点形成計画に問題がある。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

②合議審査

合議の審査は、①の個別書面審査の結果について審議を尽くした上で、総合評価を次表により行い、ヒアリングを実施すべき拠点を選定する。

その他、ヒアリングを実施すべき拠点を選定するに当たって必要となる事項は、分野別審査・評価部会の各部会が合議により定める。

区分	評 価
	ヒアリングを実施する。
	ヒアリングは実施しない。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、○印を記入する。

(2) ヒアリングの実施

- ① 分野別審査・評価部会の各部会において、「将来構想等調書」、「拠点形成計画調書」、「教育研究活動調書」をもとに、ヒアリングを行うものとする。その際、「評価書(レフェリー評価)」の評価を参考とする。

○ 評価書の作成(レフェリー評価)

分野別審査・評価部会の各部長は、ヒアリングを実施する際の資料とするため、申請のあった拠点毎に選考した2名程度の外国人研究者に、「拠点形成計画の概要」、「拠点形成計画調書」の「6. 研究活動の計画」及び「教育研究活動調書」の「[1] 2. 研究活動面の状況」並びに「[3] 研究者調書」等をもとに、研究水準等の「評価書」の作成を依頼する。

「評価書」の作成に当たっては、審査要項「4. 審査に当たっての着目点」(2)の2) ①~④の各要素に着目し、意見を付すものとする。

- ② 実施に当たっては、別に定める「ヒアリング実施要領」により行う。
- 1) 学長(又は副学長等)及び拠点リーダー等(申請内容等について責任をもって説明できる者)に対し、ヒアリングを行う。
 - 2) ヒアリングを実施した拠点については審査要項「4. 審査に当たっての着目点」の各要素に着目しつつ、次表により評価を行う。

区分	評 価
	非常に優れた拠点形成計画であり、実現性・発展性が大いにある。
	優れた拠点形成計画であり、実現性・発展性に期待できるところがある。
	良い拠点形成計画であるが、実現性・発展性にやや難点がある。
	拠点形成計画としては、再検討を要する。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

- ③ 分野別審査・評価部会の各部会は、全ヒアリング終了後、審議を尽くした上で、合議により総合評価を次表により行い、採択候補拠点を選定し、グローバルCOEプログラム委員会に報告する。

区分	評 価
	採択候補拠点とする。
	余裕があれば、採択候補拠点とする。
	採択候補拠点としない。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、○印を記入する。

2. 部会長会議における総合調整

分野別審査・評価部会の各部会が選定した採択候補拠点について、以下の観点から総合調整を行う必要があるときは、部会長会議において、合議により総合調整を次表により行い、その結果をグローバルCOEプログラム委員会に報告する。

(観点)

- 各分野間で調整すべきことがあるか。

区分	評 価
	採択候補拠点とする。
	余裕があれば、採択候補拠点とする。
	採択候補拠点としない。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、○印を記入する。

3. グローバルCOEプログラム委員会における審査

分野別審査・評価部会が選定した採択候補拠点又は、部会長会議における総合調整の結果について、以下の観点から審議を尽くした上で、合議により採択拠点を決定する。

(観点)

- 選定された採択候補拠点が、本事業の趣旨、目的等に照らして適当なものであるか。
- 各分野間で調整すべきことがあるか。

区分	評 価
	採択する。
	採択しない。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、○印を記入する。

平成19年度「グローバルCOEプログラム」書面審査表（案）

[分野名：] 審査委員名：

機関名	機関番号	整理番号	—
プログラム名			
専攻等名			
拠点リーダー名			
総合評価	<input type="checkbox"/> 非常に優れた拠点形成計画である。		
	<input type="checkbox"/> 優れた拠点形成計画である。		
	<input type="checkbox"/> 拠点形成計画にやや不十分な点がある。		
	<input type="checkbox"/> 拠点形成計画に問題がある。		
総合評価所見 下表(1)～(4)を踏まえ、 上記の評点とした根拠・ 理由等について記入して ください。	(優れた点等)		
(改善を要する点等)			
<p>(1) 大学の将来構想と組織的な支援</p> <p>[(1)の総合評価] 4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>① 大学全体の将来構想において、拠点形成計画が十分戦略的なものとして位置付けられているか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>② 学長を中心としたマネジメント体制の下、国際的に卓越した教育研究拠点形成への重点的取り組みが予定されているものであるか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>③ 事業が終了した後も、国際的に卓越した教育研究拠点としての継続的な教育研究活動が自主的・恒常的に行われることが期待されるものであるか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>*上記(1)の評点の判断の根拠・理由等をできるだけ記入してください。</p>			
<p>(2) 拠点形成計画</p> <p>[(2)の総合評価] 4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>① 拠点形成計画が、国際的に卓越した教育研究拠点を目指し、将来の発展性が見込まれるものとなっているか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>② 拠点形成計画全体が着実かつ現実的であり、教育研究活動の活性化が図られ、実現性の高いものとなっているか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>③ 他の大学等との連携による計画については、拠点となる大学及び将来的な拠点構想が明確となっており、その連携が拠点形成に必要不可欠であるか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p> <p>④ 拠点として機能するための運営マネジメントが期待できる体制となっているか。</p> <p>4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている</p>			

*上記(2)の評点の判断の根拠・理由等をできるだけ記入してください。

(3) 人材育成面

[(3)の総合評価] 4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

- ① 学生が将来、有為な人材として活躍できるよう、必要な指導体制、教育プログラム等が計画されているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ② 博士課程学生に対する経済的支援や、若手研究者に自立して活躍できる機会を与えるなど、若手研究者がその能力を十分に発揮できるような計画となっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ③ 国内外の優れた教員の雇用・招聘や留学生を含む若手研究者の派遣・受入れ、海外の大学等と協力した人材養成プログラムの実施など、国際的に活躍できる人材を養成するための工夫がされているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ④ 博士課程学生を含めた若手研究者の育成・支援の実績を有しているか。(特に21世紀COEプログラムにおいて採択されている拠点については、21世紀COEプログラムで期待された成果が十分に得られているか。)
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ⑤ 他の大学等と連携した取組については、人材養成における連携の有効性が明確となっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

*上記(3)の評点の判断の根拠・理由等をできるだけ記入してください。

(4) 研究活動面

[(4)の総合評価] 4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

- ① 拠点形成計画の内容が世界最高水準を目指すものであり、国際的なネットワークの構築、国内外の優れた研究者の雇用・招聘や若手研究者の派遣・受入れ、海外の研究機関等との連携など、国際的な研究活動が実施されるものとなっているか、または、我が国固有の分野もしくは、諸外国に例を見ない独創的な研究アプローチとなっており、諸外国に積極的な情報発信をするものとなっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ② 拠点形成計画に参画する研究者が、実質的に協力・連携し、拠点形成に向けて十分貢献できる体制となっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ③ 国際的に卓越した教育研究拠点の形成に当たって、必要な研究活動の実績を有しているか。(特に、21世紀COEプログラムにおいて採択されている拠点については、21世紀COEプログラムで期待された成果が十分に得られているか。)
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ④ 他の大学等と連携した取組については、研究における連携の有効性が明確になっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

*上記(4)の評点の判断の根拠・理由等をできるだけ記入してください。

(5) 申請経費の合理性等

2. 事業の目的・計画に照らして妥当である 1. 事業の目的・計画に照らして整合性を欠いている

*上記「1.」と判断した場合は、その根拠・理由等を記入してください。

(6) その他（ヒアリングにおいて説明を求めべき事項があれば、記入してください。）

※書面審査表については、電子システムでの入力・提出・集計を実施する。

平成19年度「グローバルCOEプログラム」レフェリー評価書（案）

○ 評価書作成者

所属機関	
部 局	
役 職	
氏 名	

○ 評価対象プログラム

[分野名：]

機関名		機関番号		整理番号	
プログラム名					
専攻等名					
拠点リーダー名					

[人材育成面の水準等]

[人材育成面の総合評価] 4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

- ① 学生が将来、有為な人材として活躍できるよう、必要な指導体制、教育プログラム等が計画されているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ② 博士課程学生に対する経済的支援や、若手研究者に自立して活躍できる機会を与えるなど、若手研究者がその能力を十分に発揮できるような計画となっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ③ 国内外の優れた教員の雇用・招聘や留学生を含む若手研究者の派遣・受入れ、海外の大学等と協力した人材養成プログラムの実施など、国際的に活躍できる人材を養成するための工夫がされているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ④ 博士課程学生を含めた若手研究者の育成・支援の実績を有しているか。(特に21世紀COEプログラムにおいて採択されている拠点については、21世紀COEプログラムで期待された成果が十分に得られているか。)
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ⑤ 他の大学等と連携した取組については、人材養成における連携の有効性が明確となっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

*上記の評点の判断の根拠・理由等（優れている点、改善を要する点等）を必ず記入してください。

〔研究活動面の水準等〕

〔研究活動面の総合評価〕 4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

- ① 拠点形成計画の内容が世界最高水準を目指すものであり、国際的なネットワークの構築、国内外の優れた研究者の雇用・招聘や若手研究者の派遣・受入れ、海外の研究機関等との連携など、国際的な研究活動が実施されるものとなっているか、または、我が国固有の分野もしくは、諸外国に例を見ない独創的な研究アプローチとなっており、諸外国に積極的な情報発信をするものとなっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ② 拠点形成計画に参画する研究者が、実質的に協力・連携し、拠点形成に向けて十分貢献できる体制となっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ③ 国際的に卓越した教育研究拠点の形成に当たって、必要な研究活動の実績を有しているか。（特に、21世紀COEプログラムにおいて採択されている拠点については、21世紀COEプログラムで期待された成果が十分に得られているか。）
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている
- ④ 他の大学等と連携した取組については、研究における連携の有効性が明確になっているか。
4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

*上記の評点の判断の根拠・理由等（優れている点、改善を要する点等）を必ず記入してください。

※レフェリー評価書については、電子システムでの入力・提出・集計を実施する。

平成19年度「グローバルCOEプログラム」レフェリー評価書（案）

○ 評価書作成者

所属機関	
部局	
役職	
氏名	

○ 評価対象プログラム

[分野名：]

機関名		機関番号		整理番号	
プログラム名					
専攻等名					
拠点リーダー名					

〔研究活動面の水準等〕

4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや劣っている 1. 劣っている

*上記の評点の判断の根拠・理由等（優れている点、改善を要する点等）を必ず記入してください。

※レフェリー評価書については、電子システムでの入力・提出・集計を実施する。